

平成8年緑化推進運動功労者内閣総理大臣表彰受賞者名簿  
(五十音順)

[ 個人 ]

あかまつ まさこ  
赤松 雅子 (静岡県磐田市)  
くにた かなえ  
国田 かなえ (岐阜県郡上郡明宝村)  
さいとう じつお  
斎藤 實夫 (兵庫県洲本市)  
はやみ ゆきお  
早見 幸男 (島根県江津市)

[ 団体 ]

おじま だんち じち かい  
小島団地自治会 (茨城県高萩市)  
かみのかわまちかみごうに く じち かい  
上三川町上郷二区自治会 (栃木県河内郡上三川町)  
こだちろうじん  
小立老人クラブ (山梨県南都留郡河口湖町)  
しんえつはんどうたいかぶしきがいしゃ しらかわこうじょう  
信越半導体株式会社 白河工場 (福島県西白河郡西郷村)  
たかはたまちやしるがわかせん あいごかい  
高島町屋代川河川愛護会 (山形県東賜郡高島町)  
とよさわがわ と ち かいりょうく  
豊沢川土地改良区 (岩手県花巻市)  
ひがしおおさかし みどり しみん かい  
東大阪市を緑にする市民の会 (大阪府東大阪市)  
ふじかわこうくどうろ あいごかい  
藤川校区道路愛護会 (鹿児島県薩摩郡東郷町)  
わかさちょうりんぎょうけんぎゅうかい  
若桜町林業研究会 (鳥取県八頭郡若桜町)  
わくながせいやくかぶしきがいしゃ ひろしまじぎょうしょ  
湧永製薬株式会社 広島事業所 (広島県高田郡甲田町)

[ 学校 ]

あきのみやしやうがっこうみどり しやうねんだん  
秋ノ宮小学校緑の少年団 (秋田県雄勝郡雄勝町)  
おおくまちょうりつくままちしやうがっこう  
大熊町立熊町小学校 (福島県双葉郡大熊町)  
おきなわけんりつうらそえこうぎやうこうとうがっこう  
沖縄県立浦添工業高等学校 (沖縄県浦添市)  
まつやましりつ ひうらちゅうがっこう  
松山市立日浦中学校 (愛媛県松山市河中町)  
やきやましやうがっこうみどり しやうねんだん  
八木山小学校緑の少年団 (福岡県飯塚市)

[ 地方公共団体 ]

いかるがちょう  
斑鳩町 (奈良県生駒郡斑鳩町)  
せちばるちょう  
世知原町 (長崎県北松浦郡世知原町)  
にしはらむら  
西原村 (熊本県阿蘇郡西原村)  
ねあがりまち  
根上町 (石川県能美郡根上町)  
みずほちょう  
瑞穂町 (京都府船井郡瑞穂町)

[個人]

氏名	<p>あかまつ まさこ 赤松 雅子</p>
住所	<p>静岡県磐田市</p>
功績の概要	<p>同氏は、昭和32年に静岡県花の会連合会が発足してから今日まで、役員として40年の長きにわたり花いっぱい運動を中心とした環境美化思想の普及に努めてきた。</p> <p>特に、県下各市町村長に対し、精力的に「花の会」の結成を働きかけ、全市町村に「花の会」を結成させるとともに、「花の会」同志の団体交流として、講演会、先進地見学会、機関誌の発行などの活動を推進している。</p> <p>また、静岡県提唱の「一家一年一木一花運動」を積極的に連合会の運動に取り入れ、県と一体になって推進した。この「一家一年一木一花運動」は、一軒の家で1年に1本の木・1本の花を植えて、花と緑あふれる郷土をつくろうとする県民運動で、苗木・種子・球根の配布、シンボル花壇の設置、県民大会の実施やリーダー研修会の開催などの活動を行っているものである。</p>

[個人]

氏名	<p>くにた え 国田 かなる</p>
住所	<p>岐阜県郡上郡明宝村</p>
功績の概要	<p>同氏は、地域緑化に対する周辺の理解も浅い昭和35年から地道に緑化活動に取り組んでおり、地域や村全体の緑化推進及び緑化思想の普及に大きく貢献している。</p> <p>特に、36年間にわたりシバザクラを村道沿い等に植え続け、約1 kmにも及ぶ「花のじゅたん」を作り上げ、シーズンには5,000人以上の見学者を集めるなど、地域緑化とともに地域の活性化に尽力している。</p> <p>また、斜面の多い村の地形を利用した周囲の景観と調和の取れた花飾りは、地域住民から高い評価を得ており、シバザクラ、チューリップ、スイセンなどの苗、球根の無償提供などと相まって、地域住民への緑化に対する意識高揚に貢献している。</p> <p>このような氏の長年にわたる緑化への取組とその実績、地域住民の緑化に対する盛り上がりなどを背景に、村では平成3年から「全村花いっぱい運動」に取り組み、花と緑を通じて潤いのある美しい村づくりを推進するに至っている。</p>

[個人]

氏名	<p>さいとう じつお 齋藤 實夫</p>
住所	<p>兵庫県洲本市</p>
功績の概要	<p>同氏は、潤いと安らぎに満ちた新しい地域づくりを住民対話の中から創造していこうと、昭和50年4月に県下で最初に設置された淡路県民会議の代表運営委員として活躍された。その間、「ふれあい島民運動」を展開し、“花いっぱい淡路”、“きれいな淡路”等の推進目標をかかげ、島内主要沿線でコスモスやキンセンカの花づくり奉仕活動や、沿線一戸一鉢運動のプランターを設置するとともに、フラワーロードを整備するなど環境美化に努めてきた。</p> <p>また、昭和61年2月に設立された淡路緑花協会の会長として花と緑いっぱいの“公園島淡路”をめざして四季折々の花を沿道に植栽するなど、実践活動を率先して展開するとともに、花づくり講習会、コンクールの実施、花木の提供のほか、阪神・淡路大震災の被災者の仮設住宅周辺でのミニ花壇づくりを進めるなど、島民の環境緑化意識の高揚に努めている。</p>

[個人]

氏名	<p>はやみ ゆきお 早見 幸男</p>
住所	<p>島根県江津市</p>
功績の概要	<p>同氏は、昭和29年以來、スギを中心とした造林に取り組み、最少のコストで優良材を生産する集約施業を育林方針として、試験林での各クローンの成長度・形質調査、雪害と木の形質を考慮した鎌や梯子の考案、自然条件に配慮した品種の導入等独自の研究と実践を重ね、今では苗木生産から素材出荷までの全てを家族のみで実施し、県内外の林家の模範となっている。</p> <p>また、昭和61年に結成された「江津市林業研究会」の中心メンバーとして、地域の子供たちを対象とした「林業教室」等を開催し子供たちの緑化思想の向上に努めているほか、氏が確立した枝打ち技術による林業後継者の育成に貢献するとともに、所有林への視察者に対する山づくりの解説、苗木出荷先の山林所有者へのアドバイス等、地域に密着した地道な活動を通じた地域住民等の山に対する愛情の育成にも貢献している。</p>

[団 体]

<p>名 称</p>	<p>おじま だんち じちかい 小島団地自治会</p>
<p>所 在 地</p>	<p>茨城県高萩市</p>
<p>代 表 者</p>	<p>会 長 椎名 雅己</p>
<p>功績の概要</p>	<p>同会は、昭和57年の発足以来、「できることからすこしずつ」をモットーに、団地内及びその周辺において、毎月2回、公園・緑地における環境美化活動、団地入り口部分の約100mに及ぶ花壇の設置管理等を行っており、住み良いきれいな団地づくりを目指している。また、平成3～5年の3年間にわたり県道高萩・塙線の路肩にカンナを500mにわたり植栽してきたほか、団地周辺の花壇の拡大や団地内の塙の高さの制限などにより景観を守ることにも気を配るなど、団地外にもその活動が及んでいる。特に花壇づくりについては、茨城県内のコンクールで毎年のように優秀な成績を収めており、県下の緑化団体の模範となっている。</p> <p>市の緑に関する行事にも積極的に参加し「高萩市民憲章推進協議会」の「自然を大切にし、美しいまちづくり等」の大きな力になっている。</p>

[団 体]

<p>名 称</p>	<p>かみのかわまちかみごうにく じちかい 上三川町上郷二区自治会</p>
<p>所 在 地</p>	<p>栃木県河内郡上三川町</p>
<p>代 表 者</p>	<p>会 長 追 着 信 義</p>
<p>功績の概要</p>	<p>同会は、設立以来、未就学児童をはじめ、老人に至るまでの各年齢層の参加を得た自治会であり、奉仕活動の一環として、主に道路の清掃・美化活動を実施してきている。</p> <p>特に、昭和50年からは一般県道真岡・上三川線のバイパスの開通を契機として、自治会を挙げて花いっぱい運動を積極的に展開し、春と秋に種蒔きから育苗した約3万本の四季折々の草花（サルビア、マリーゴールド、カンナ等）を地区内道路の中央分離帯等に植栽するとともに、沿道の清掃や草刈り等の維持管理を継続的に実施し、道路の緑化、美化に貢献している。</p> <p>これらの作業については、4月から10月の間は毎月2回、その他の月は1回と、年19回にわたり定期的な実施されている。</p> <p>同会の長きにわたる緑化活動は、地域住民はもとより、道路利用者にも心の安らぎを与えており、他の模範として緑化意識等の高揚に多大な貢献をしている。</p>

[団 体]

<p>名 称</p>	<p>こだちろうじん 小立老人クラブ</p>
<p>所 在 地</p>	<p>山梨県南都留郡河口湖町</p>
<p>代 表 者</p>	<p>会 長 古屋 卓夫</p>
<p>功績の概要</p>	<p>同クラブは、河口湖畔にある八木崎公園内の除草、樹木の剪定、清掃施設の管理等を34年間にわたり定期的に行うとともに、公園周辺を中心とした河口湖畔の清掃も行っている。また、香りの里づくり事業として町が同公園内に設けたラベンダーガーデンの管理も実施しており、ラベンダーの植栽、除草、施肥などを行っている。</p> <p>さらに、小立墓地公園くぬぎ平スポーツ広場等、公共施設周辺の苗木の植栽及び清掃など公園以外での緑化活動も積極的に実施しているところである。</p> <p>さらに、公園等の緑の愛護活動に加え、地元の保育園児・小学生などを対象とした緑化指導や伝統芸能の伝承など、地域の緑のリーダー的役割を果たしており、その幅広い活動の展開に顕著な功績が認められる。</p>



[団 体]

<p>名 称</p>	<p>しんえつはんどうたいかぶしきがいしゃ しらかわこうじょう 信越半導体株式会社 白河工場</p>
<p>所在地</p>	<p>福島県西白河郡西郷村</p>
<p>代表者</p>	<p>取締役工場長 中山 了司</p>
<p>功績の概要</p>	<p>同工場は、昭和50年操業開始の高純度シリコン単結晶・ポリッシュドウェーハ等の製造工場である。</p> <p>周辺の緑豊かな自然との共存が図られ、工場機能と自然が調和する「インダストリアルパーク」の実現を目指して土壌改良や病虫害対策、寒冷対策を講じつつ、従業員による自主的な緑化推進運動の結果、自然樹林と庭園風の開放的な緑地とが調和した緑と花が溢れる工場が創出されている。</p> <p>特に、県花であるシャクナゲの育成に努めており、5～6月には構内に植栽された同花100余种約4,700本が美しい花を咲かせている。</p> <p>また、構内の緑地の開放や、花木の配布、環境改善対策等に積極的に取り組むことで、地域住民との融和が図られ、地域緑化の推進、地域環境の向上にも寄与しており、緑化に関する社会的な貢献も顕著である。</p>

[団 体]

<p>名 称</p>	<p>たかはたまちやしろがわかせんあいごかい 高島町屋代川河川愛護会</p>
<p>所 在 地</p>	<p>山形県東賜郡高島町</p>
<p>代 表 者</p>	<p>会 長 高梨 克巳</p>
<p>功績の概要</p>	<p>同会は、昭和46年に結成され、屋代川の環境を保つことを目的として活動を展開している。この活動は、高島地区から始まり昭和56年からは流域に関わる二井宿・屋代の地区も加わり活動を展開している。</p> <p>屋代川は、近年河川改修が進んだため、草刈りやゴミ拾いなどの活動のほか、河川を生活の一部に取り込もうと平成2年から30㎡の花壇32基を整備しており、草花の植栽やその管理を行っている。また、河川周辺の景観を向上させるために堰堤にも植栽を行うなど、活動に広がりを見せている。</p> <p>また、花壇の整備に伴い、その植栽管理を愛護会のほか子供会や小中学校にも参加を呼びかけ、町ぐるみで実施しているところである。</p> <p>その他、年一回、機関誌である「愛護会だより」の発行も行っており、花のまちづくりの先導的な役割を果たしている。</p>

[団 体]

<p>名 称</p>	<p>とよさわがわとちかいりょうく 豊沢川土地改良区</p>
<p>所 在 地</p>	<p>岩手県花巻市</p>
<p>代 表 者</p>	<p>理事長 佐藤 光英</p>
<p>功績の概要</p>	<p>同土地改良区は、組合員4,200余戸、2市1町（花巻市、北上市、石鳥谷町）の地域にまたがる岩手県を代表する土地改良区であり、農業用水の安定的な確保を図るため昭和36年に完成した豊沢ダムの水源地域であるダム上流域での森林整備や、緑化推進の普及啓発活動に長年にわたって取り組んできている。</p> <p>昭和39年には、土地改良区所有地約10haに分収造林方式で森林造成を、昭和45年には設立20周年記念として3.1haの植樹を行ったほか、造成した水源かん養林の保全のため、地元花巻市の森林組合等との連携のもと、長年にわたって除伐、間伐などを実施している。</p> <p>また、ダム建設に伴い移転した農家により結成されている「豊沢会」の所有地においても、会と連携を図りながら、造林や、森林保全活動に努めている。</p> <p>緑化推進の普及啓発活動としては、広報誌の「広報とよさわ川」を通じて「森林資源の大切さ」や「造林活動」等の呼びかけを行ってきた。</p> <p>さらに、創立50周年に当たる平成12年に記念植樹を計画しており、今後に向けて積極的な取組の展開を図ることとしておる。</p>

[団 体]

<p>名 称</p>	<p>ひがしおおさかし みどり しみん かい 東大阪市を緑にする市民の会</p>
<p>所 在 地</p>	<p>大阪府東大阪市</p>
<p>代 表 者</p>	<p>会 長 川西 主</p>
<p>功績の概要</p>	<p>同会は、昭和52年に、市内の各種団体及び企業の参加により市民が相互に相携えてまちの緑を守り、緑を育て、緑を増やし明るいまちづくりを実践する市民団体として創立したものである。市内の企業・団体及び市民相互の緑化意識の高揚と緑化事業の推進を目的として、年5回の施設見学会、園芸講習会の開催及び東大阪市との共催による植樹祭、毎年行われる「ふれあい祭り」への参加、(財)東大阪市公園協会との共催で行う「花と緑の展示即売会」の開催等を通じて、市民緑化への啓発に努めている。</p> <p>また、東大阪市を緑にする市民の会設立記念として開始した都市計画道路大阪瓢箪山線の街路樹であるクスノキ等の剪定・灌水・殺虫・除草等及び駅前花壇3か所の維持管理を継続的に実施している。</p> <p>その他、市民の花である「キキョウ」を毎年約8,600株無料配布するほか、年1～2か所の花の名所づくりを行い、まちの緑化と緑の保全に取り組んでいる。</p>

[団 体]

<p>名 称</p>	<p>ふじかわこうくどうろあいごかい 藤川校区道路愛護会</p>
<p>所 在 地</p>	<p>鹿児島県薩摩郡東郷町</p>
<p>代 表 者</p>	<p>会 長 井手口 浪夫</p>
<p>功績の概要</p>	<p>同会は、昭和15年に設立されて以来、未就学児童をはじめ校区の大多数が参加し、道路の愛護に関わる奉仕活動を56年間という長期間にわたり、定期的（定期年4回、臨時年4回程度）に行ってきた。</p> <p>その活動は、地域内の県道、町道の沿道の草木類の植栽、剪定、除草等を、会員一体となって積極的に実施している。</p> <p>特に県道沿道6.5km及び町道の沿道16.5kmにわたっては、昭和59年より町木の紅梅樹の植栽を行うとともに、剪定、消毒、追肥等を行うことにより、春には美しい花を咲かせ、地域住民はもとより道路利用者からも大変好評を得ている。</p> <p>また、紅梅樹の間に、コスモス、カンナ、ビオラ、パンジーの草花を植栽し、道路の一層の緑化、美化に努めている。</p> <p>同会の長きにわたる緑化活動は、他の校区のボランティア団体の先駆者的役割を果たし、他の模範として緑化意識の啓発に寄与している。</p>

[団 体]

<p>名 称</p>	<p>わかさちょうりんぎょうけんきゅうかい 若桜町林業研究会</p>
<p>所 在 地</p>	<p>鳥取県八頭郡若桜町</p>
<p>代 表 者</p>	<p>会 長 伊井野 政之</p>
<p>功績の概要</p>	<p>同研究会は、婦人部の設置、林業を学べる家庭環境づくり、小学校での森林教室の開催等による林業後継者の育成とともに、先進地視察、林業講演会、「林研だより」による会員相互の意見交換会等を通じた会員の新しい林業技術の修得等に努めているほか、会員の山を展示林として開放したり、枝打ち、間伐コンクールを開催したりすることを通じた地域の一般林家の育林技術の向上にも努めており、その結果、同研究会発足当時に比べ枝打ち量や間伐量が約7倍に増加し、町内の随所で手入れの行き届いた美林が形成される等、地域の育林の活性化に多大に貢献するとともに、緑化活動の推進についても顕著な功績が見られる。</p> <p>また、平成6年からは、優秀で貴重な町産材を産出する林地を「銘木林」に選定して町産材の優秀さを県内外にPRするとともに、林業関係者の視察や子供たちの学習の場としても活用し、地域林業の活性化とともに、緑化思想の育成に努めている。</p>

[団 体]

<p>名 称</p>	<p>わくながせいやくかぶしがいいしゃ ひろしまじぎょうしょ 湧永製薬株式会社 広島事業所</p>
<p>所在地</p>	<p>広島県高田郡甲田町</p>
<p>代表者</p>	<p>副社長広島事業所長 不破 亨</p>
<p>功績の概要</p>	<p>同工場は昭和43年操業開始の各種医薬品の製造工場である。「人々の健康に奉仕する」という基本理念のもと、自然との調和、地域環境の向上、メンタルヘルスの推進、地域社会との共生・社会貢献、快適な職場づくりの推進等を目指して、従業員の手により緑化が推進されている。工場敷地内は、芝生、ヒマラヤスギ等の列状植栽、ツツジ等の低木、四季折々の花が咲く花壇が配置され、庭園風の緑地が創出されている一方、工場近隣には約500種類5,000本のバラやサクラ、チューリップ、菖蒲、コスモス等の花木や薬用植物が植栽された「湧永満之（創業者）記念庭園」（約148,000㎡）が整備されている。</p> <p>また、構内緑地・記念庭園等の開放や、球根・苗木の配布等に積極的に取り組み、地域住民との融和、地域緑化の推進に努めており、緑化に関する社会的な貢献も顕著である。</p>

[学 校]

<p>名 称</p>	<p>あきのみやしやうがっこうみどり しょうねんだん 秋ノ宮小学校緑の少年団</p>
<p>所在地</p>	<p>秋田県雄勝郡雄勝町</p>
<p>代表者</p>	<p>校 長 金 勝治</p>
<p>功績の概要</p>	<p>同少年団は、学校とPTAとの協力体制の強化、地域住民総出の育林活動を背景に、昭和10年以来受け継がれてきている学校林の規模の拡大に努めるとともに、これを「喜びの山」と称して自主的に下刈り等の管理育成活動を実施している。</p> <p>その活動の一環として、集めた落葉で学級菜園用の腐葉土をつくりサツマイモを栽培したり、森林組合の指導のもと原木になめこの植菌の埋込作業を行い、収穫したなめこを地区の福祉施設に届け収穫の喜びを分かち合ったりして、自然と人間生活との関わりに理解を深めながら、勤労奉仕活動を実施している。</p> <p>また、地区内の「東山森林公園」への花苗の植栽、草木の大切さや樹木の働きと公害との関係等を学ぶ自然観察会、地区内のゴミ拾いや清掃を行う町一斉クリーンアップ作戦等の活動を通じて地域環境の向上に貢献するとともに、自然保護精神や郷土愛の育成に努めている。</p>



[学 校]

<p>名 称</p>	<p>おおくまちょうりつくままちしょうがっこう 大熊町立熊町小学校</p>
<p>所 在 地</p>	<p>福島県双葉郡大熊町</p>
<p>代 表 者</p>	<p>校 長 松本 廣美</p>
<p>功績の概要</p>	<p>同校は、昭和46年の校舎新築完成を機に、P T A・地域住民の協力と、町教育委員会等の支援を得て、学校環境緑化の活動を推進している。特に、緑化コンクール入賞以来、「大きく育て」を教育目標とし、緑化活動を教育課程の一つの柱として位置付け、継続的に緑化にかかわる諸活動の推進を図っている。</p> <p>また、緑化環境を教材化し、理科や生活科などの観察学習、全校生の縦割りグループによる花壇での草花の栽培、学年による畑での野菜作りや校地内除草活動などを行っている。</p> <p>さらに、緑豊かな校地環境は、地域社会のシンボリック存在であり、地域住民などに憩いの場として愛され、親しまれている。それが、なごやかな心情を育み、本校児童の心の育成に大きく寄与している。特に、緑の少年団活動には、学校、地域等が一体となって支援協力し、明るく生き生きとした子供を育てていこうとする姿が見られる。</p>

[学 校]

<p>名 称</p>	<p>おきなわけんりつうらそえこうぎょうこうとうがっこう          沖縄県立浦添工業高等学校</p>
<p>所在地</p>	<p>沖縄県浦添市</p>
<p>代表者</p>	<p>校 長        中村 明</p>
<p>功績の概要</p>	<p>同校は、昭和58年の開校以来、県教育委員会の提唱する地域の自然、文化の重視とともに、自立、協調、創造を校訓にかかげ「潤いのある教育創造を求めて」をテーマに、自然環境と人間の調和ある生き方を体得させるため、花いっぱい運動、緑化活動、環境教育活動を通して人間性豊かな「心づくり」教育を積極的に推進している。</p> <p>具体的には、環境緑化全体計画を作成して教育計画に位置付け、生徒、職員、保護者が一体となって計画的、継続的に進めている。</p> <p>また、緑の遊歩道や緑陰のトレーニングコースなど、校内の豊かな緑化施設は理科や体育などの教育活動の中で有効に活用している。</p> <p>さらに、校内の樹木には、数多くの野鳥が巣作りをして繁殖地になっており、常に野鳥の観察会ができ、県内外からの見学者も絶えることがない。</p> <p>このほか、実践報告書の作成・発表、緑化に関する見学会、シンポジウム、研修会の開催など、環境、緑化教育の普及啓発の点でも充実した活動を展開している。</p>

[学 校]

<p>名 称</p>	<p>まつやましりつひうらちゅうがっこう 松山市立日浦中学校</p>
<p>所 在 地</p>	<p>愛媛県松山市河中町</p>
<p>代 表 者</p>	<p>校 長      三浦 正道</p>
<p>功績の概要</p>	<p>同校は、1.2haの学校林で同市の天然記念物である「三本杉」の苗木を中心に計画的な学校林の育成活動を実施し、模範的な森林づくりを展開しているほか、地域住民にも森林づくりの大切さを伝えるため、生徒が工夫したデザインで標語板を作成し通学路等に設置して地域緑化の普及啓発に努めている。</p> <p>また、昭和56年には緑の少年団を結成し、山林の手入れのほか、公民館や集会所等への花苗の植栽、ホタルの里の復活を目的とした生育環境等調査、クヌギの木炭づくり、モウソウ竹を利用した新たな「木酢液」の研究等地域の環境緑化活動を幅広く推進しており、これらの活動を通じて毎年1,800kgも木炭生産を行っているほか、「木酢液」の園芸植物の虫除け等効果に着目し、現在では森林組合に納入する等地域振興にも多大に貢献している。</p>

[学 校]

<p>名 称</p>	<p>やきやましょうがっこうみどり しょうねんだん 八木山小学校緑の少年団</p>
<p>所在地</p>	<p>福岡県飯塚市</p>
<p>代表者</p>	<p>校 長 田中 義春</p>
<p>功績の概要</p>	<p>同少年団は、同校の裏山の「龍王山」を舞台に、昭和59年度から、野鳥観察、植物観察・採取等の体験学習を年間20回程度実施し、児童の自然保護意識の醸成に努める一方、昭和61年からは「沙漠開発研究所」の呼びかけに応じ、黄河流域の森づくり30年計画の一助としてクズの種子を中国に送る活動を行い、国際緑化に貢献するとともに、平成3年の台風による風倒木の早期復旧のため、地域住民と協力して植栽活動を実施し、その後の森林の育成・管理に貢献している。</p> <p>また、学校田での作物収穫時には市内の障害児学級の児童を招待して収穫の喜びを分かち合っているほか、同校周辺のゴミ拾いを通じて地域の環境美化に努める等、勤労奉仕活動にも積極的に取り組んでいる。</p> <p>さらに、日々の活動を通じて得られた貴重な体験を「ふれあい文集」としてまとめ、その発表会を開催することにより、奉仕や環境保護等の精神に更なる向上に努めている。</p>

[地方公共団体]

<p>名 称</p>	<p>いかるがちょう 斑鳩町</p>
<p>所在地</p>	<p>奈良県生駒郡斑鳩町</p>
<p>代表者</p>	<p>町 長 小 城 利 重</p>
<p>功績の概要</p>	<p>同町は、歴史的環境や自然環境を生かしながら、斑鳩らしい風景・景観づくり、緑と花あふれるまちづくりとして「花いっぱい運動」を展開している。</p> <p>平成4年度に農家等の協力を得て、法隆寺周辺でコスモスの栽培を行い、その種子を公民館、学校等同地区内に配布することにより、身近な生活環境での緑化の推進を図っている。平成7年度より実施区域の拡大を行うとともに、栽培作物にレンゲ、ヒマワリを追加するなど広範囲で長期的・永続的な緑化推進運動として取り組んでいる。</p> <p>また、約250名の住民ボランティアにより、松林保護のためにマツやヒノキの苗木約1,200本を植林したり、「みんなの森造成事業」として小中学校等において、クスノキ、キリシマツツジ等数種類の樹木を植栽するなど、広域的な緑化活動を行い、潤いのある地域づくりを進めている。</p> <p>平成5年12月に法隆寺周辺地域が世界遺産として登録を受けたこともあり、恵まれた歴史と自然の環境を守り、創り、育てるための新しい施策にますます力を入れている。</p>

[地方公共団体]

<p>名 称</p>	<p>せちばるちょう 世知原町</p>
<p>所 在 地</p>	<p>長崎県北松浦郡世知原町</p>
<p>代 表 者</p>	<p>町 長 市瀬 健爾</p>
<p>功績の概要</p>	<p>同町は、町民の誇りである緑の山々や豊かな清流を今も残す佐々川の自然を生かした“田園型アメニティタウン”を目指して、昭和61年1月に「全町公園化宣言」を行い、住民総参加を基本理念に全町公園化事業を実施している。全町公園化の基幹プロジェクトとして「緑と花いっぱいの里」、「清流の里」、「憩いとふれあいの里」、「深山の里」の四つの里づくりを提唱し、花木の植栽・植樹や公園の整備等の緑化事業をはじめ、環境美化、自然保護・保全、交流拠点整備等を行い、快適環境のまちづくりを推進している。</p> <p>また、緑化に関する各種ボランティア活動を行う「緑の少年団」の結成、レクリエーション等を通じて自然の大切さを学習するとともに近隣市町村との交流を深める「せちばる森のつどい」の開催、同町内の動植物を紹介した「せちばる自然図鑑」の発行を行う等、官民一体となった緑化活動に積極的に取り組んでいる。現在では、全町公園化構想も定着し、地域住民を中心とした永続的な緑化を通じたまちづくりへと発展している。</p>

[地方公共団体]

<p>名 称</p>	<p>にしはらむら 西原村</p>
<p>所 在 地</p>	<p>熊本県阿蘇郡西原村</p>
<p>代 表 者</p>	<p>村 長 山本 佐吉</p>
<p>功績の概要</p>	<p>同村は熊本市の近郊に位置し、阿蘇外輪山の一部である標高1,095mの俵山を中心とした広大な原野と山林からなっている。</p> <p>昭和35年から、住民の拡大造林の要望に基づき、未利用の広大な原野に分収造林の方式により水源かん養林の造成に努め、現在までに1,670haの水源林を造成した。</p> <p>また、肉用牛の飼育農家が著しく減少したことに伴い、従来採草放牧地として利用されてきた原野において、緑化及び水源かん養の観点から集落住民による自発的活動としての造林も積極的に実施され、現在までに585.39haの造林がなされた。造林地の手入れは、集落住民により頻繁に実施されている。</p>

[地方公共団体]

<p>名 称</p>	<p>ねあがりまち 根上町</p>
<p>所在地</p>	<p>石川県能美郡根上町</p>
<p>代表者</p>	<p>町 長      大窪 昭二</p>
<p>功績の概要</p>	<p>同町は、加賀平野の西部、日本海に面した手取川の扇状地帯に位置しており、「住んでよかった町、住みたくなる町づくり」のスローガンのもと、花と緑のネットワークによる全町公園化構想を推進している。</p> <p>この一環として、緑化意識の向上を図るための推進拠点「町立フラワーセンター」の開設、ゆとりと潤いに満ちた地域住環境の確保に向けた生垣条例の制定、ボランティアによる町民緑化組織の育成などに取り組み、花と緑を活用した潤いのある町づくりに全町的に取り組んでいる。</p> <p>また、平成6年からは、地域の住民参加による農道やあぜ道を利用して総延長約2.5kmに及ぶ花街道づくりなど、農村地域の景観づくりにも取り組んでいる。</p> <p>これらの取組により、町全体の緑化面積はフラワーセンター開園前の約3倍に増加しており、住民参加型の緑化運動の定着に大きく貢献している。</p>



[地方公共団体]

<p>名 称</p>	<p>みずほちょう 瑞穂町</p>
<p>所在地</p>	<p>京都府船井郡瑞穂町</p>
<p>代表者</p>	<p>町 長 黒田 一夫</p>
<p>功績の概要</p>	<p>同町は、周囲を取り巻く豊かな自然を愛し、進歩と秩序ある町づくりを目指して、自然との共生を主眼とした諸政策に取り組んでいる。</p> <p>昭和56年から緑化木や実のなる木の植栽を推進しており、昭和59年には、中心的地域に鳥獣保護区特別保護地区を指定し、平成3年には、小鳥がさえずる森づくり運動の推進により「野鳥の森」を整備し、その趣旨を広く町民に伝えようと、愛鳥モデル校の指定や緑の少年団の設立、緑化樹の全戸配布なども行われ、児童や地域住民らにより、毎年愛鳥行事、緑の学習会や森林清掃奉仕等が町内各地で行われている。</p> <p>また、平成3年に、緑の大切さを提唱するための象徴として、将来巨木の森となるような山林を守り育てようと、「不伐の森条例」を制定し、野鳥の森を含む町有林18.7haを永久に伐採することのない森とし、将来に伝承することとした。</p> <p>現在、「野鳥がさえずる森林文化都市構想」を策定中であり、野鳥・森林を軸とした自然を永遠のテーマとして町づくりを進めていくこととしている。</p>